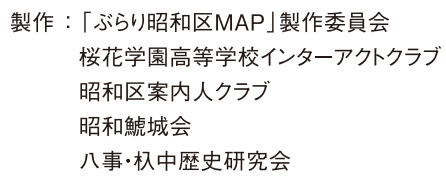
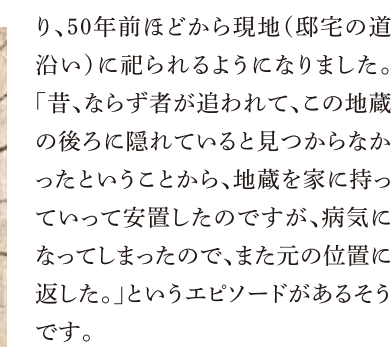
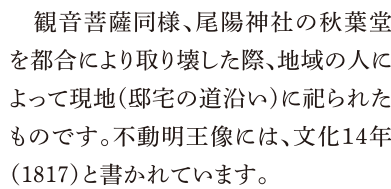


鶴舞公園の中にある菖蒲池は、約90種類、2万株のハナショウブが植えられており、初夏の開花の頃になると、多くの人々が訪れます。池といっても、通常は水を張らず、ハナショウブの開花時期にだけ水を張り、水面に映るハナショウブの水際の涼しさを演出しています。

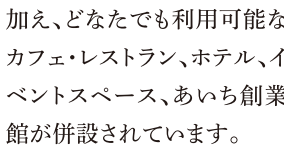
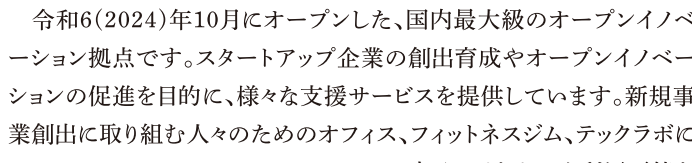


昭和11年から平成7年まではデザインが異なる奏楽堂が建てられていましたが、平成9年に築造当時の姿に復元されました。

昭和44年3月、尾陽神社にあった秋葉堂を都合により取り壊した際、地域の人によって現地(邸宅の道沿い)に祀られたものです。観音像には、寛政6年(1794)と書かれています。

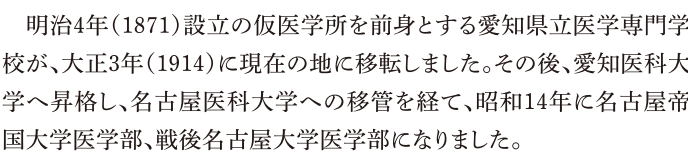


若葉児童遊園地内にある白金消

A large, yellow, cat-like sculpture with its mouth open, located in a park. The sculpture is made of a textured material, possibly concrete or stone, and has a friendly expression with large, dark eyes. It is situated on a grassy area with trees and a building in the background.

名古屋工業大学は明治38年(1905)に創設された名古屋高等工業学校が前身で、名古屋初の国立学校でした。

正門を入ると前庭にはニュートンリングと呼ばれるモニュメントが設置されています。このモニュメントや正門の4つの円弧にはそれぞれ8桁の数字が記されています。この数字は、有名な4人の科学者（レオナルド・ダ・ヴィンチ、ガリレオ・ガリレイ、アイザック・ニュートン、ルネ・デカルト）の生没年を表しているそうです。どの数字がどの科学者にあたるか、クイズに挑戦してみよう。



戦前の建造物の多くは空襲で焼失しましたが、損壊を免れた旧正門と外塀は、明治・大正期の近代建築の貴重な歴史遺産として国の登録有形文化財に指定されています。

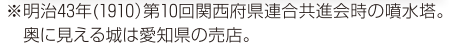


昭和区の西部に位置するこの地域は、御器所台地を中心とした地域で、高低差が約15mあるため、急坂や崖を見ることができます。台地上には、古より集落が発達し、由緒ある神社や寺社など点在しています。

御器所村だった頃、精進川改修工事で発生する土砂を利用してこの地域の沼地を埋め立て、明治43年(1910)開催の第10回関西府県連合共進会の会場となりました。これが鶴舞公園の始まりです。

精進川は明治43年(1910)に新堀川と改称され、以降、河川両岸には工場や木材業者の店舗が立ち並び始めました。やがて、昭和30年代以後の高度経済成長時代には、この一帯は工業地帯として急速に発展してきました。

また、東郊通の南北付近では、大正元年(1912)からの耕地整理事業により、天池の埋立て等耕地の整理が進み、その後、都市化に向けた宅地造成が進み、現在市街地の基礎ができていきました。



共進会とは、
明治時代に開催された
地方博覧会だよ！当時の優れた
工業製品や農産物などが
出品されたよ♪



名古屋市昭和区役所

10月には昭和区の
区民まつりが開かれるよ。
みんな来てね!

昭和公園駐車場

The map shows Sakawa Park with a parking lot (昭和公園駐車場) marked with a blue 'P' in a circle. To the right of the parking lot is a playground area with a red and blue figure icon. Further right is a green sports field. A north arrow is located in the top left corner of the map area.



この丘陵地は、初代名古屋区長(市制前のこと)吉田禄在の所有地でした。禄在は、名古屋を経由する幹線鉄道(東海道線)建設の誘致をはじめ、名古屋の礎を築き、近代化に尽力した人です。其進会の際に土地を寄付し、金閣寺を模した貴賓館(聞天閣)が建てられました。昭和3年の博覧会時は美術館が建設され、その後猿

面茶席(後に国宝)、松月斎が移築されました。戦中は高射砲陣地となり、各施設は全て戦災で焼失してしまいました。



鶴舞公園ができる以前、このあたり一帯は旧御器所村の水田や大根畑が広がる田園地帯でした。この池の水源は、千種区の猫ヶ洞池で、吹上方面から流れる川をせき止めて造られたかんがい用のため池でした。共進会の折には浮見堂などを設け、眺望のよい所でした。



明治43年(1910)の共進会の時に造られた池で、鶴舞公園が整備されてからもそのままの形で残っています。池全体を上から見ると蝶が羽を広げた形をしています。北側の池には、6月から7月にかけて池一面



登竜橋から竜ヶ池の対岸に目を向けると、落差4mの滝が見えます。周辺の市街化により、補給水が断たれ、汚れが目立ってきたので、昭和30年、近くのビール工場の冷却水が引かれました。「酒匂の滝」と命名され、これは実現のため絶大な協力を惜しまなかった時の工場長「酒匂常仲」氏にちなんで付けられたものです。



平成30年にオープンした人工芝の多目的グラウンド2面と、おしゃれなクラブハウスが目印のスポーツ施設です。「テラスポ」とはテラスとスポーツを組み合わせた造語で、「市民のテラス空間」として、交流や憩いの場にしたいというメッセージが込められています。

サッカーのみならず、様々なスポーツやレクリエーションが楽しめるコミュニティグラウンドとなっています。



直径82m、高さ10mの巨樹を誇る東海地方最大の円墳です。大正8年(1919)、鶴舞公園に編入され、昭和6年、国の史跡に指定されました。

5世紀前半に名古屋台地を支配した豪族の墳墓とみられ、出土した埴輪(はにわ)などは戦災で失われました。八幡山の名は、御器所八幡宮の奥宮があったからで、いろいろ神事が行われたとも伝わっています。

直径82m、高さ10mの
模を誇る東海地方最
の円墳です。大正8年
(1919)、鶴舞公園に編
され、昭和6年、国の史
に指定されました。
5世紀前半に名古屋台
を支配した豪族の墳
災で失われました。八
からで、いろいろ神事が